



## 布マスクの生産急ピッチ 4月24日

蓬田紳装株式会社では、村からの委託を受け、新型コロナウイルス感染症予防のためのマスクの生産を行っています。綿100%のワイシャツ用の反物をマスク用に加工した布地を使い、洗っても使えるよう丁寧に縫製されています。1日500枚の生産を目標に作業が進められており、5月中に村民1人3枚ずつお手元に届けられる予定です。

## 目次

- 子どもの医療費無料化18歳到達年度末まで・・・P 2
- 全会計予算を審議・・・・・・・・・・P 4
- 一目でわかる審議結果・・・・・・・・・・P 7
- 6議員が一般質問・・・・・・・・・・P 8
- 自治功労者表彰・・・・・・・・・・P20

U R L [http://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/sonsei\\_8.html](http://www.vill.yomogita.lg.jp/sonsei/sonsei_8.html)

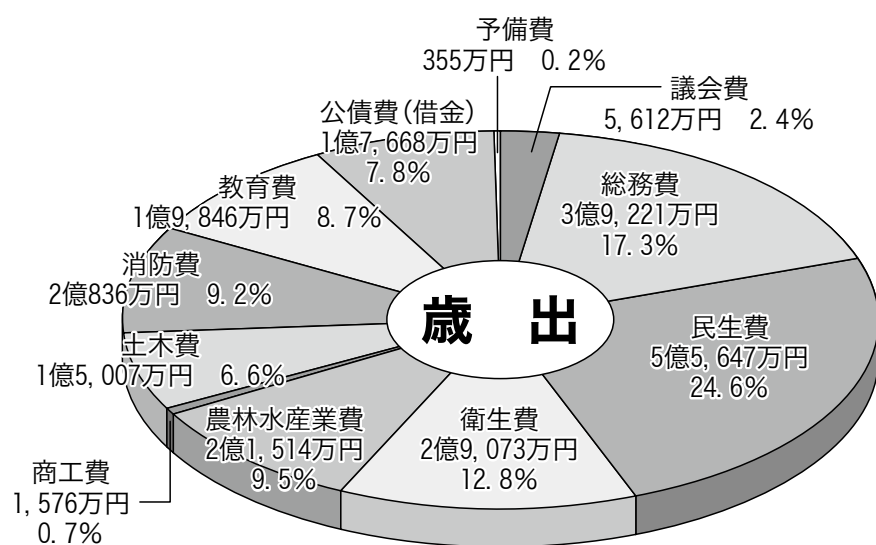
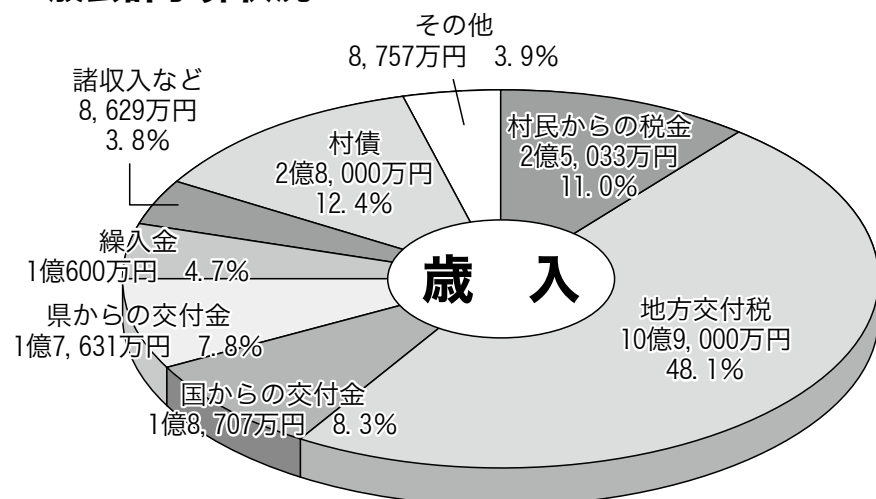
E-mail [yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp](mailto:yomo-gikai01@vill.yomogita.lg.jp)



# 18歳到達年度末まで拡大

22億6,357万円のつかいみち

## 一般会計予算状況



令和2年第1回定例会は、3月3日から6日までの4日間の会期で開催されました。令和2年度一般会計、5特別会計歳入歳出予算案をはじめ、条例案、令和元年度補正予算案、人事案件など村から提出された報告1件、議案25件を審議し、全て承認、可決しました。また、請願1件を採択し、意見書1件を可決しました。

## 会計別予算状況

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	22億6,357万円	9.3%
特別会計	12億103万円	2.8%
①学校給食センター	2,696万円	-
②国民健康保険	5億1,263万円	-
③簡易水道	9,148万円	-
④介護保険	4億8,937万円	-
⑤後期高齢者医療	8,059万円	-

(千円単位四捨五入)

# 第1回定例会

どう  
活かす

# 子どもの医療費無料化

令和2年度一般会計当初予算



これまで子どもの医療費助成の対象は、0歳から中学校卒業まででした。子ども子育て支援対策として、18歳到達年度末までに拡充します。

## 主な事業

- 農業用機械等導入支援（補助率3分の1、上限50万円）※対象にならない場合があります。
- 学校給食費3割補助（小学生 1食あたり250円→170円、中学生 1食あたり290円→200円）
- よもぎ温泉改修工事（貯水槽等更新、浴槽回りの整備など10、11月休業予定）
- 小中学校内の無線LANの環境改善、タブレット端末の拡充
- 11トン級除雪ドーザの更新

●産業振興  
①今年度の目標は1100haの水田のうち、主食用米の作付面積480haを目指す。土地改良事業や農業用施設整備事業の展開。  
タマネギ、トマト、寒冷地野菜その他新作目の開拓による高収益作物の増産。  
ホタテ養殖残渣による堆肥の活用。土地改良事業や農業用施設整備の補助。

●教育設備の拡充  
小中学校の情報通信ネットワークの整備。タブレット端末1人1台。

久慈村長は、健全なる財政と効率的な運営を基本に行財政改革を進め、村民憲章にある「明るく、ゆたかで、住みよい」村づくりに邁進するとし、今年度の施政方針を述べました。



久慈修一村長

## 令和2年度施政方針

●住民生活関連事業の充実  
①新デジタル防災行政無線の戸別受信機を希望世帯に設置する計画。国土強靱化基本法に基づき国が進めるプログラムに従い、村の「地域計画」の策定をする予定。  
●住みよい、住みたい村づくり  
①「蓬田村型地域共生社会」の構築。移動手段の確保や買い物弱者対策など生活支援体制サービスを構築。  
②各種検診率の向上、健康づくり推進。介護予防事業の展開。  
③子どもの医療費助成を18歳年度末までに拡充。

検討をし、漁業後継者づくりを支援。  
③外国人観光客受け入れのための特産品づくり、マルシェ、よもぎ温泉等の施設の維持管理、整備。

# 32億3,921万円の 全会計予算を審議

## 予算特別委員会



3月3日、4日の2日間、予算特別委員会を開会しました。  
(委員長 久慈省悟・副委員長 川崎憲二)  
令和2年度一般会計予算ほか、5特別会計予算を審議し、賛成多数で可決しました。

### 主な質疑

#### 議会・総務関係の予算

##### 新庁舎建設検討委員会委員報酬

**Q** (川崎委員) 令和2年度、委員会を立ち上げるといことが。

**A** (小松総務課長) 令和2年度には蓬田村役場庁舎建設検討委員会を立ち上げる予定である。委員は最大で15名程度、内訳は議会の議員、それからJA、消防団、連合自治会、社会福祉協議会の各種団体。この予算が通れば3月中には要綱を交付して、4月以降検討委員会を開きたい。

#### 新庁舎建設基本計画概要版作成

**Q** (小鹿委員) 概要版とはどのようなものか。どこに業務を委託するのか。期間はどれくらいか。



築後50年以上経った役場庁舎

**A** (総務課長) 面積をどのくらいにするのか。

るとか、場所はここにしたいほうが良いとか、こういう機能をつけたいほうが良いとか、役場の庁舎を建てるに当たっての条件づけをするための設計を考えている。

業者はもちろん設計業者になると思うが、ある程度、検討委員会にかけられる前に概要版を作って参考にしてもらいたいと思っていないかと考えている。

#### 公共施設個別施設計画策定業務

**Q** (川崎委員) 中身がわからないので説明願いたい。

**A** (総務課長) 村で持っている建物のことで、役場の庁舎、ふるさと総合センター、トレーニングセンター、消防の屯所、いきいき交流館も含んでい

る。教育委員会の管轄、例えば小学校、中学校に関しては、個別の計画がつくれる予定があるので、こちらからは除外される。内容としては、建物の健康診断である。例えば築何年か、どの場所のどこが悪いとか、ここを直さなければいけないということ、一施設ごとに判定をする。計画を策定するための基礎になる。

#### 役場駐車場舗装補修工事

**Q** (坂本委員) どこを補修するのか。

**A** (総務課長) 役場前の駐車場の舗装は、だいぶ穴があいたりひびが入ったりして傷んで

ている。部分的な補修を考えている。

**Q** (坂本委員) 最近、役場の前の駐車場がすごく狭い。海岸のほうは使われていないのか。近隣のあいている土地を借りて駐車場にできないのか。対応できるようになるのか。

**A** (総務課長) 寺の下の駐車場は今も利用している。役場の前の駐車場も前面のほうはいつもあけているはずだ。定期的に車が混み合うこともある。近隣に借りられるような土地もないので、結果的



舗装の穴が目立つ役場駐車場

には役場の職員の中から、また寺の下のほうに移動して前のほうをあけるなどして対応せざるを得ないのかなと考える。

### 民生費・衛生費関係の予算

#### ふれあいセンター 指定管理料

**Q** (柿崎委員) 昨年度から見ると、指定管理料が225万円増えているが、その内訳は。

**A** (高田健康福祉課長) 内訳は、消費税増税分、最低賃金の引き上げ分、レジオネラ対策分、来年度予定している工事に伴う休業分である。

**Q** (柿崎委員) 温泉の入浴料が350円のまま据え置きになっている。なぜ、国が上げた消費税を付加した入浴料にしないのか。

単純に入浴料を50円くらい値上げすると、指定管理料225万円を増額しなくても運営できる金額になると思うがどうか。

**A** (健康福祉課長) 村が負担する増額の収入に対する影響を入浴料で賄うのも1つの方法だと思う。しかし、よもぎ温泉は、村の福祉施設、住民サービスを伴う施設であり、観光拠点でもある。

入浴料の増額を考える上では、近隣の施設との利用料金等の均衡という部分もある。安易に入浴料を上げるという判断には至らない。ただし、今後、アシストの運営上、村の財政上、そこに手をつけなければいけないという状況になった場合は、また検討したい。

**Q** (柿崎委員) 350円という低価格で運営していて、また225万円の増額がなければ運営できない、指定管理料を増やしても運営したいというところだが、今まで何億という設備投資をしてきて、なおかつ消費税までも負担して運営するというのは、営業上、民間では考えられない。入浴料の値上げを前向きに検討してもらいたい。

か、近隣の市町で上げるとなれば、我々も検討しなければいけない。

**A** (久慈村長) 入浴料だけに消費税がかかるわけではなく、生活全体にかかって村民負担が増えてくる。住民の健康増進、福祉の増進、また、よもぎ温泉の利用者が5万人から6万人になるように考えながら運営していきたいので当面値上げしない。

入浴料の増額を考えると、近隣の施設との利用料金等の均衡という部分もある。安易に入浴料を上げるという判断には至らない。ただし、今後、アシストの運営上、村の財政上、そこに手をつけなければいけないという状況になった場合は、また検討したい。



よもぎ温泉

### 土木費関係の予算

#### 下瀬辺地併用 林道整備工事

**Q** (坂本委員) 黒滝の道路の補修だが、この工事によって車でも通行が可能になるのか。

**A** (高田産業振興課長) 黒滝の併用林道だが、崩落がひど過ぎて、わずかばかりの補修では車が行けるようにならない。森林管理署が管理しているのだから、再三要望しても補修してもらえない状態だ。徒歩で行く分にもかなり危険が増してきたので、そこを解消するために2力所分を補修する予算である。補修はするが車では行けない。

か、近隣の市町で上げるとなれば、我々も検討しなければいけない。

### 反対討論



豊 坂本 下り 努力 引き 上げ したい 国 保 険 引 入 れ たい 会 計 引 入 れ たい 国 保 険 引 入 れ たい

○令和2年度一般会計予算  
村民の多くは高過ぎる国保税に非常に苦しんでいる。これを解消するために全国知事会などが求めているのは、公費の投入で保険税を引き下げることである。今の政権で国保の都道府県化が行われたが、これは市町村が一般会計から繰り入れを行っている自治体独自の国保税軽減をやめさせることにある。しかし、厚労省は都道府県化になっても、一般会計からの繰り入れは自治体独自で判断できるとしているし、生活困窮者への自治体独自の軽減も何ら問題ないと国会で答弁している。このことから村でも調査をして国保税引き下げの努力をすることを求め、私の反対討論とする。

# 主な条例

全条例案が全員賛成で可決しました。主な条例改正をご紹介します。

(全議案の審議結果は次ページをご覧ください。)

## 子どもの医療費

18歳到達年度末まで無料

乳幼児・児童医療費給付条例の一部改正

## 出動手当額引き上げ

16000円→18000円

消防団条例の一部改正



令和元年秋季火防演習

**例の容  
条改正内** 消防団員の処遇改善のための出動手当の改定です。1人1回につき200円アップします。

## 村の選挙時に選挙ポスター掲示場を村内31箇所に設置

村の議会の議員及び長の選挙ポスター掲示場に関する条例の制定

**例の容  
条制定内** 選挙ポスター掲示場の設置のための条例制定です。国政選挙や県関係の選挙時だけでなく、村の選挙の際にもポスターを掲示できるようにします。



東郡の他町では首長、議員選挙時も既に設置

## 宅地造成事業特別会計を廃止

特別会計設置条例の一部改正

**例の容  
条改正内** グリーンタウンの宅地造成事業が終了し、土地の分譲のみであることから、特別会計を設置しておく必要がなくなりました。



グリーンタウンよもぎた分譲地

## 村ホタテガイ養殖残渣対策協議会委員に蓬田たまねぎ生産組合員と特定非常利活動法人プロモーションよもぎたを加える

村ホタテガイ養殖残渣対策協議会設置条例の一部改正

## 蓬田村ホタテガイ養殖残渣堆肥化処理施設の指定管理者を蓬田村漁協に

村公の施設の指定管理者の指定

**その他** 契約期間5年間の更新で、蓬田村漁業協同組合が指定管理者となります。



村ホタテガイ養殖残渣堆肥化処理施設

## 森林の整備のための基金を設置

森林環境基金条例の制定

**例の容  
条制定内** 民有林の所有者の把握や今後の整備の意向調査などのシステム環境を作っていくために基金を積み立てます。

# 元年度3月補正予算

会計名	補正金額	予算総額
一般会計	1,320万円	21億3,671万円
特別会計		
学校給食センター	26万円	2,358万円
国民健康保険	400万円	5億2,565万円
簡易水道事業	3万円	9,235万円
介護保険	2,429万円	5億1,895万円

(千円単位四捨五入)

## ◆主な予算項目◆

- 村地方創生有識者会議謝金 8万円
- 自立支援給付費 8万円
- 大館住宅修繕料 41万円
- 物産館マルシェ指定管理料 48万円



物産館マルシェよもぎた

**Q** (柿崎議員) 物産館マルシェのレジの交換は、消費税が引き上げになる前に国からレジの補助金があったと思われるが、申請していなかったのか。

**A** (高田産業振興課長) 総額68万400円から国の補助金20万円を引いて48万円である。

## 質疑

### 物産館マルシェの指定管理料

- 中学校電気料 30万円
- 小・中学校図書購入費 3万円 (長科自治会より寄附)

# 人事案件

蓬田村固定資産評価審査委員に佐井勝治さん（広瀬）が再任



佐井 勝治さん

満場一致で同意されました。

# 請願

最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める請願

（坂本豊議員提出）

採択（賛成6 反対1）

# 意見書

最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書

可決（賛成4 反対3）

## 一目でわかる審議結果 〈3月定例会〉

	名 称	結果	賛成：反対
1	報告 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更の専決処分	承認	7：0
2	議案 蓬田村職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正	可決	7：0
3	議案 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	可決	7：0
4	議案 蓬田村行政財産使用料徴収条例の一部改正	可決	7：0
5	議案 蓬田村特別会計設置条例の一部改正	可決	7：0
6	議案 蓬田村乳幼児・児童医療費給付条例の一部改正	可決	7：0
7	議案 蓬田村ホタテガイ養殖残渣対策協議会設置条例の一部改正	可決	7：0
8	議案 蓬田村道路占用料等徴収条例の一部改正	可決	7：0
9	議案 蓬田村消防団条例の一部改正	可決	7：0
10	議案 蓬田村簡易水道事業給水条例の一部改正	可決	7：0
11	議案 蓬田村の議会の議員及び長の選挙ポスター掲示場に関する条例の制定	可決	7：0
12	議案 蓬田村森林環境基金条例の制定	可決	7：0
13	議案 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村総合組合同約の変更	可決	7：0
14	議案 蓬田村公の施設の指定管理者の指定について	可決	7：0
15	議案 蓬田村一般会計補正予算（第5号）	可決	7：0
16	議案 令和元年度 蓬田村学校給食センター特別会計補正予算（第3号）	可決	7：0
17	議案 蓬田村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	可決	7：0
18	議案 蓬田村簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決	7：0
19	議案 蓬田村介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決	7：0
20	議案 令和2年度 蓬田村一般会計予算	可決	6：1
21	議案 蓬田村学校給食センター特別会計予算	可決	7：0
22	議案 蓬田村国民健康保険特別会計予算	可決	6：1
23	議案 蓬田村簡易水道特別会計予算	可決	7：0
24	議案 蓬田村介護保険特別会計予算	可決	6：1
25	議案 蓬田村後期高齢者医療特別会計予算	可決	6：1
26	議案 蓬田村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	採択	7：0
27	請願 最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める請願	採択	6：1
28	意見書 最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める意見書	可決	4：3

# あなたの声を村政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究・住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などに方針を問うものです。

議員一人当たりの制限時間は90分で、質問の回数は1つの質問につき、3回までです。



答弁する久慈村長（左） 質問する小鹿議員

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 村道拡幅について	吉田 勉
10~11	1. 国土強靱化基本計画について 2. 自治会へ貸与の除雪機の利活用状況について	小鹿重一
12~13	1. 村第三セクターのよもぎたアシスト株式会社について 2. 消防団各屯所トイレの水洗化について	久慈省悟
14~15	1. 国土強靱化事業について	柿崎裕二
16~17	1. 外ヶ浜中央病院について 2. 農業用機械等導入支援事業について	川崎憲二
18~19	1. 学校給食無償化について 2. 消防団員の報酬引き上げについて 3. 住宅リフォーム助成について 4. 離岸堤への立ち入りについて	坂本 豊

議事録は議会事務局や村のホームページで閲覧できます。



# 吉田 勉の一般質問

第1回定例会（3月5日）



## 中学校通りの用地買収のその後は

(村)1月末に一度交渉した

**Q**

中学校通りの拡幅は、過去、一度交渉が決裂したそうだが、話し合いを持たなければ前へは進めない。12月議会で川崎議員の一般質問に、村長は年度内に交渉したいと答えだが、どうなったのか。

**A**

(稲葉正明建設課長) 令和2年1月31日、久慈村長が土地の相続人のうちのひとりに電話で拡幅工事の協力をしてもらえないかお願いをした。



国道280号線と踏切の間の中学校通り

相続人からは、兄弟が複数いるので、私1人では決められない、近々話をしてみるということであった。

**A**

(久慈修一村長) 私も含めて何とかできないかと希望を持っている。

私から蓬田村にいる親族の方々へ協力を願って、相続人のひとりに話をした。今まで数十年たっているのと、土地そのものがまだ相続されていない、相続人も少なくとも15人ぐらいにはなりそうだとのことだ。今、建設課長等が調べているので、それが決まり次第、また話を進めていきたい。

## 小学校から選果場までの村道は

(村)拡幅する計画で進めている



小学校校門前からトマト選果場まで約157メートル

**Q**

小学校から農協選果場までの通りは、6月下旬のトマトの出荷初めから、毎日のように市場に向けた大型トラックが行き来している。また、9月の下旬からは、もみを積んだトラック、トレーラー等がライスセンターに向けて往復する。幅員が大変狭いため、対向車が来た

ときは道幅いっぱい、もしくは畑にかかるぐらい寄せての停車を余儀なくされる。

令和2年度の当初予算で、この道路の拡幅工事測量設計業務委託が計上されているが、その内容はどのようなものか。

**A**

(建設課長) 学校の校門を過ぎたところからトマトの選果施設までの村道整備は、地権者の方々に用地の協力をお願いし、拡幅する計画で進めている。延長は157メートルほどとなっている。

## 拡幅はどのくらい

**Q**

拡幅はどのくらいを考えているのか。また用地買収まで今年中にいけるのか。

3メートル弱

**A**

(建設課長) 幅は3メートル弱で、片側1車線で考えている。用地買収は、今年度は考えていない。

## 来年度用地買収を

**Q**

小屋の移転等も必要になってくる。来年度に向けて用地買収をしてほしい。

## 来年度以降

**A**

(建設課長) 今年度は測量業務委託をし、用地の確定をして、来年度、用地買収に向けて進めていきたい。



# 小鹿重一の一般質問

第1回定例会（3月5日）

## 国土強靱化基本計画とは

### （村）基本計画と地域計画を策定

どのように考えているか

**Q** 国土強靱化基本計画をどのように考えているか。

まず基本計画、地域計画をつくらなければならない

**A** （村長）国土強靱化の事業に、急傾斜地とか、ため池とか、どれに当てはまるのかは、非常に判断が難しいと考える。

したがって、まず広域圏で基本計画をつくらなければいけない。それで、地域計画、個々の市町村の分については個々がつくる。そのときに初めてあらゆる事業が出てきて、やる、やらないを決めていかなければならないものなので、もう少し時間がかかるものと思っている。

また、防災拠点として新庁舎を建設することになる場合、国土強靱化計画の対象事業になる可能性は考えられるのか。

令和2年度はない

**A** （総務課長）来年度地域計画をつくる予定なので、令和2年度の予算化はない。

令和3年3月末までに圏域で基本計画、各市町村で地域計画を策定することになる。

また、新庁舎建設に関して、対応する要件によっては国土強靱化計画のメニューが使えるとは思いますが、まだ詳しく調べていないので今のところ未定である。

**Q** 国は、平成25年12月に「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を制定し、翌年「国土強靱化基本計画」を策定している。この基本計画は、村にはどのように説明されているのか。また、村の国土強靱化地域計画の策定はどうなっているのか。

た事業を進める場合には、国土強靱化の地域計画の策定が必須となる。そこで、青森県域連携中核都市圏（以後、圏域）での対応として、令和2年度から圏域の構成市町村での作成を検討している。圏域で、大きな基本計画を作成して、各市町村が（※）リスクシナリオごとの対応策を作成することになる。それが地域計画になる。これをつくることによって、関係府省庁の支援等を受けることが可能となる。

**A** （小松生佳総務課長）今回、国土強靱化計画の見直しでは、市町村が実施する補助金・交付金事業に対して、予算の重点化・要点化・見える化等を実施して、地域計画の策定、地域の国土強靱化の取り組みを一層促進することが明記されている。

市町村では今後は国土強靱化計画として予算化される

令和2年度には該当する事業がないのか

**Q** 令和2年度の村の当初予算には、国土強靱化基本計画に沿ったものは含まれていないということか。

※用語解説

- ・リスクシナリオ
  - …危険や損害など将来何か悪いことが起こる可能性を想定したもの

# 各自治会配置の除雪機の利活用の実態は

## (村)適正に運用されている

**Q**

今年の冬は、ほとんど雪が降らず、恐らく除雪機は稼働していませんかと思う。

各地区におけるこれまでの除雪機の利活用の実態、また問題提起等はなされているか。

**A**

(総務課長) 除雪機は、平成28年度に郷沢、瀬辺地、中沢、長科の4自治会、平成29年度に阿弥陀川、広瀬、高根の3自治会に譲渡している。その他の自治会は、使用する都度、役場の除雪機の中



雪が積もるまでしばらくの間、村の倉庫で待機

から持ち出しで対応してもらっている。

配置されている中沢、長科、阿弥陀川、瀬辺地、広瀬、高根の6自治会は、適宜使用されているようだ。

郷沢地区は、自治会からの返却の申し入れがあったので、現在は役場で保管中である。

また、その利活用は、補助金10万円、適宜請求をされて交付も受けていることから、適正に運用されていると思われる。特段、苦情・要望事項等は来っていない。

**自治会での対応できなくなったときの対応を考えているか**

**Q**

一地区では返却の申し出があったそうだが、除排雪に限らず、

地域の人たちがお互いに協力し助け合っていくことは当然のことだ。現在は個人所有のシヨベルローダー、トフクター、除雪機等で近所の除排雪のお手伝いをしていてというのが現状ではないかなと思っている。

当村では、65歳以上の人口が1000人を超えたとすうだ。実に2・7人に1人が65歳以上の高齢者が占める。やがて隣近所の面倒を見られなくなるのではないかと心配もされる。

村長は各自治会に一応据えつけがあるので、困ったときは自治会に話をしてくださいと言われることがあり。利用できる場合の取り決めはあるものの、運用を誤ったり、あるいは利用者がどんどん増えたときに、自治会での対応できなくなるおそれがあるのではないかと考えている。村長の見解を求める。

**当面はこのまま続けさせてもらいたい**

**A**

(村長) 役場や人を雇ってやるにも限界があることから、自治会の皆さんにお願いするといった形でこの事業をスタートさせた。

ただ、やれない人がたくさん出てくるとなれば、その時点でもう1回、各地区とお話をしながら、特別に人を雇わなければいけないような状況を検討しなければいけないと思う。現在の状況の中では、各自治会の協力を得ながら、どうにか回しているのが実態で、当面はそのまま続けさせてもらいたい。

**要望**

自治会の皆さんも苦労される中で運用しているのが実態だと思う。いずれ除排雪の問題は出てくると考えられるので改善の策を今から検討してもらいたい。



# 久慈省悟の一般質問

第1回定例会（3月5日）

## よもぎたアシスト(株)の今後の見通しは

### (村)五輪後、マルシェをどうするか決めたい

**Q**

村長は1期目の就任の際、第三セクターのよもぎたアシスト株式会社が累計赤字を抱えたまま引き継ぎは大変だということ、当時の議長が我々議員に相談をし、950万円という公費を投入した経緯もある。

よもぎたアシスト(株)は、このまま同じ経営体質では、赤字解消どころか、ますます委託料の増額が必要となる。よもぎたアシスト(株)に抜本的改革が必要とされる百条委員会の見解が生かされていないような気がする。採算のとれない事業を精査し、見直していききたいと村長は話したが、どのように受けとめていたのか。また、今後の見通しをどのように考えているのか。

**A**

(村長) 私は、社員、会社一丸となつてこれを改善して鋭意努力していると思つている。百条委員会の調査報告書の内容で指摘されたものに従つて、平成29年度以来、会社を継続することを前提として社員及び取締役会で検討し改善を進めてきた。

皆さんだと指摘のあつた経理事務は、さらにソフトを入れかえて改善を行っている。また、会社全体で事業内容を見直し、人員の整理も行った。具体的には、アプリ事業部分をやめた。

また、物産館では平成28年度までであった売り上げが2000万円から急激にダウンして、平成29年度に1000万円になったことから、商品のラインナップ、

仕入れも見直しを行った。

よもぎ温泉は、社員のシフト、仕事の担当を見直ししながら、経費節減、時間の見直しに努めてきた。

さらに、もっと問題だと私は前から話をしているのが、指定管理料が全然機能していなかったということだ。

平成29年度から、指定管理料の適正化のための内容分析を行つてきて、令和元年度で見直しもほぼ9割方終了した。現在は適正で安定した経営体質になつたと思つている。ただ、令和元年度でレジオネラ属菌の発生という問題をどう解決するかはまだ残つている。

今後の見通しとしては、令和2年は東京オリンピック・パラリンピックの開催年であるので、観光の面から、マルシェを継続すること

話をしてきた。令和2年の結果を見ながら、施設をどうするかを決めたい。夏場、どのぐらい観光客が来るのか、どういった国の方々が来るのかということをおる程度想定しながら、準備しなければいけない。

また、平成29年度で大幅に販売額が落ち込んだの

は、私は信頼を失つたというふうには解釈しているが、徐々にだが、売上額が伸びてきているので、さらに努めていきたい。

よもぎたアシスト(株)は、株式会社なので、利益を上げて、個人株主に配当するのが本来の任務なので、何とかしていきたい。



物産館マルシェよもぎた

**要望**

補正予算の審議の際、衛生費のふれあいセンター指定管理委託料に対して、何人も委員から質疑が出されたように、非常に心配度の高い事業運営になっています。当時村長は、採算のとれない事業を精査していきたいと答弁していたように、やはりきちんと精査するところは精査し、真摯に事業運営に当たってもらいたい。

# 消防団屯所のトイレの整備は

## (村)令和2年度に各屯所の点検をする予定



中沢地区消防団屯所

**Q** 以前、消防団の各屯所のトイレが、便槽に雨水等がしみ込んで、団員は難儀している。水洗トイレに整備が必要と求めた。答弁は、人が集まるところだからと認めてもらったものの、計画の進展が見られない。どのようにしているか。

**A** (総務課長) 令和2年度、各地区の防災コミュニティセンターの点検を実施する予定で予算化している。建物の外側、内側、水回り、トイレ等も専門家に依頼をして点検してもらおう予定である。その結果をもとに、改修・補修等の計画を進めたい。

トイレは、今くみ取り式なので、できればトイレの水洗化もしたいが、水洗化

をするとすると、浄化槽が必然的に必要となる。浄化槽を敷地内に埋設できるスペースがあれば対応もできるが、用地が確保できない場合は、その部分の検討をしないといけない。トイレの使い勝手がよくないことは重々承知しているが、今後、できる限り点検をした後の対応で水洗化を目指したい。

**いつごろまでに調査を終えるのか**

**Q** いつごろまでに調査を終えたいという考えはないか。

**令和3年度以降検討する**

**A** (総務課長) まずは調査が先で、令和2年度の中では調査だけで終わることになりそう。それをもって3年度以降の予算計上で対応したい。



# 柿崎裕二の一般質問

第1回定例会（3月5日）

## 国土強靱化事業の概要と施策例は

（村）橋梁の修繕は国土強靱化事業ではなく、

社会資本総合整備交付金を活用

**Q** 村では、昨年度までに国土強靱化事業を使い、村内橋梁の老朽化対策として全ての村道の橋の補修工事を完了したと聞いているが、国土強靱化事業の概要と施策例の説明を求めます。

国土強靱化事業は令和2年度に約4億円が盛り込まれ、各都道府県から国土強靱化事業地域計画を申請された中から、国が適性を見きわめ決定されると認識している。村では、次の対象事業として別な事業申請を考えているのか。

**A** （建設課長）村内の橋梁は、社会資本総合整備交付金を活用し、平成24年度に15メートル以上の橋梁、11力所の橋



修繕を終えた中沢地区の観音橋

梁点検・長寿命化計画を作成し、現在まで9橋を修繕している。令和元年度では、2メートル以上の橋、50力所の橋梁点検及び長寿命化計画を策定中である。今後、橋梁点検・長寿命化計画をもとに橋の改修を進めていく予定だ。

計画をつくるのが前提

橋梁は社会資本総合整備交付金を使って長寿命化をやっているが、強靱化事業で橋のことを計画するにしても、基本計画等ができないうちはできないので、もしメニューに該当するものがあれば、早ければ令和4年度からその部分が事業化できる。事業を行うには計画をつくるのが前提だ。

**A** （総務課長）国土強靱化事業を使う

ためには、国土強靱化地域計画をまずつくらなければいけないということがある。令和2年度からは青森市などの連携中枢都市圏域で、その計画への取り組みが始まることになっている。その業務と同時に、構成町村でリスクシナリオごとの方策をつくって、計画が2つそろえば、令和3年度からは、その国土強靱化計画のメニューにある事業に取り組むことが可能となる。



黒岩地区のまだ整備できていない箇所

### 黒岩地区ののり面改修を地域計画に盛り込めないか

**Q** 国道280号線の蓬田村広瀬と外ヶ浜町蟹田との境界、黒岩地区の道路海側ののり面コン

クリートの老朽化がひどく、路肩が崩れ、ガードレールも傾き、危険な状態が長年続いている。のり面下の護岸は立ち入り禁止の状態であり、大きな地震などがあれば崩れる可能性が非常に高い。

そこで、国土強靱化事業の中には「生活・経済活動を機能不全に陥らせない、交通ネットワークの寸断等を回避する減災対策」として施策例が掲げられていることから、村はこの区間ののり面の改修の地域計画を策定して、事業申請はできないのか。

### 県の管理なので県に要望していきたい

**A** (建設課長) 国道280号線の通称黒岩地区のコンクリートののり面・路肩・ガードレールは、県が管理を行っている。県に対し修繕するよう要望していきたい。

### 要望

この場所は蓬田村と外ヶ浜町をつないでいる場所です。バイパスが完成する以前は主要道路であった。今はこの国道を走るの、車よりもバイク・自転車・歩

行者が多く、非常に海側の路肩が危険である。これを改善するのは急務である。

また昨年、陸奥湾内の活断層が活発になり、地震があり、大きな揺れと爆発音並みの地鳴りがあった。その震源地はまさにこの黒岩地区の沖合になっている。そういうことから、いつ大きな災害があるとも限らないので、速やかに対処してもらいたい。

### 戸別受信機設置業務は国土強靱化事業に申請できないのか

**Q** 令和2年度当初予算に、戸別受信機設置に対する財源として村債1億1900万円が計上されている。国土強靱化事業の資料には「防災情報の伝達体制の強化」として施策例が記載されている。今回、戸別受信機設置事業を進めるに当たって、強靱化地域計画を策定して申請することはできないのか。

### 緊急防災・減災事業債で整備する

**A** (総務課長) 新年度で予算化をしている戸別受信機設置業務委託については、防災情報伝達手段の多重化・多様化に係る地方財政措置としての緊急防災・減災事業債というもので整備をするものであり、国土強靱化事業の中に書かれているメニューとは別のものである。

できる限り早く事業に手をつけたいと考え、この緊急防災・減災事業債の最終年度が令和2年度となっているので、令和2年度に手を挙げて、その部分で事業債を借りて、戸別受信機の整備を計画している。国土強靱化事業での申請は考えていない。



# 川崎憲二の一般質問

第1回定例会（3月5日）

## 外ヶ浜中央病院の老朽化問題に村はどう関わっていくのか

（村）今のところ外ヶ浜町から連絡はない

**Q** 村民が安心して暮らすためには、医療の充実が必須の条件だ。

蓬田村には蓬田診療所がある。また、外ヶ浜町には中央病院がある。建設から何年経過しているかはわからないが、老朽化しているということ、外ヶ浜町の総合計画の中に30年度の時点で、老朽化に伴い検討委員会を設置し、地域医療の安全対策に向けた対策を講じたいと記載されている。

また、県でも医師不足などの環境の厳しさ、状況を踏まえ国から示されている「新公立病院改革ガイドライン」を基に、各事業体につき続き経営改善に取り組みよう「新公立病院改革プラン」の策定を要請している。外ヶ浜病院も、29年度から32年度までということ

でプランを示している。

その中で、近隣町村の中核病院をうたっており、外ヶ浜町・今別町・蓬田村の診療圏内で、地域唯一の救急の告示病院となっている。しかし、老朽化が進むなど、不安な材料がある。蓬田村は今後どういう形で関わっていくのか。

**A**

（高田一憲健康福祉課長）外ヶ浜中央病院は、蓬田村以北の2町1村を診療圏域とする地域唯一の2次救急医療を担っている重要な医療施設となっている。

外ヶ浜中央病院の今後の方針は、議員が言われた内容で、先月2月に出された第2次外ヶ浜町総合計画に対する施策検証報告書の中で確認をしている。今のところ、この件に関して、

外ヶ浜町からの連絡等は一切ない状況だ。今後、関係町村として外ヶ浜町からの連絡があった場合は、将来を見据えたさまざまな視点で参画していきたい。

近隣でバックアップを

**Q**

東青5市町村でつくる青森圏域連携中核都市圏での連携協約も締結している。医療も大事なのでその連携協約の中で提案し、病院や医療のあり方を訴えてほしいなと思っている。

津軽半島の中核病院として、住民が安心して利用できる病院となるように、近隣の町村、外ヶ浜町、今別町、蓬田村、加えて青森市も交えて、みんなでバックアップして、病院をよくしていくべきではないか。

外ヶ浜町から問題が出されたら誠意を持って対応したい

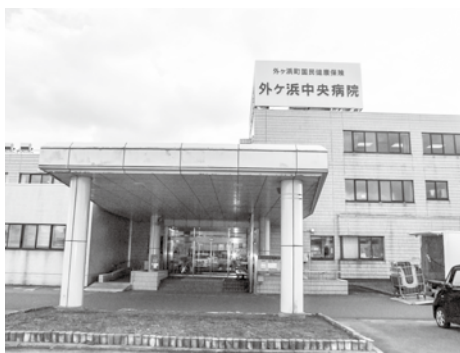
**A**

（村長）議員が言われたとおりであり、私たちが安心して暮らすためには、医療機関がきちんとしていないと暮らせないということは基本的なことである。

中核都市圏構想の中でも当然話が出てくると思われる

る。しかし、財源的なもの、お金の出し方を考えると、私もからはなかなか言いにくい状況だ。やはり当該市町村の外ヶ浜町からこの問題を出してもらって話をする、これが筋だと私は思っている。

もう一つは、外ヶ浜中央病院の位置づけが、青森県では青森県医療計画を持っていて、1次医療圏は診療所、2次医療圏は中核病院、3次医療圏は県立病院や市民病院などの急性期の大きな病院、高度医療を提供する病院というように分けられている。



外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院  
（写真提供：外ヶ浜町議会）



その医療圏のこともきちんと県で検討・協議をしていかなければならない。そして、それを進めるとなると、外ヶ浜町単独でやるということではなく、広域事務組合のようなものが必要になってくるのではないか。

健康福祉課長から説明があったように、それらが出てきたときは、私どもも誠意を持って交渉していかなければならぬだろうと考えている。

**要望**

相手から来ないと何もできないという状況だが、ちよつとでも尻をたたきながら応援してもらいたい。また、蓬田村では救急車を呼ぶと、まず救急がある病院ということ、外ヶ浜中央病院へということになっている。いろいろ意見を出し合って、とにかくみんなが安心して通えるような病院につくってほしい。

# 応募者が多数あった場合の優先順位は

## (村)達成目標の規模で順位づけ

**Q** 令和2年度の新規事業として農業用機械等導入支援事業が予定されている。現在、農業用機械等の助成をする事業というのは、県単事業などを探してみても少ない状態だ。国の経営体育成事業などもあるが、応募してもなかなか採択されず、支援なしの導入か、諦めるしかないという状態だ。このようなか中で、今回の支援事業は、農業を営む人にとって喜ばしい事業だと思っている。

**A** (高田徹産業振興課長) 事前に村内に回覧等で周知し、応募用紙に5年後までに達成できる目標を記載する方法で応募してもらう予定となっている。当該目標を点数化し、点数の高いほうから優先して予算上限まで順番に採択していく。点数が同じ方が複数名いた場合は、目標の規模によって順位づけを行い、採択していく。

**事業は1年だけか、複数年か**

**Q** 要件はいろいろあるが、県などの事業ではなかなか採択されない。また、この事業は、令和2年度だけなのか、または複数年事業なのか。

**3カ年を予定**

**A** (産業振興課長) 令和2年度より3カ年を予定している。

**要望**

農家がやってほしい支援としては、機械の導入の他に、既存の水稲、トマトのハウスの補修への助成だ。今回の事業の要件とすれば、新規で建てるか、または建てかえなどの50万円以上について助成をすると聞いている。ハウスを建てるに金もかかるし、そこまでかけられないという人であれば、既存のハウスを補修したいと考えている。今回、補修に対しては、50万円以上でも補修では対象にならないとのことだ。ぜひともハウスの補修について検討願いたい。農家の方々が仮に20万円、30万円かけて補修した場合にも、少しでも支援できるような体制をつくってほしい。



中沢地区のミニトマトのハウス団地



# 坂本 豊の一般質問

第1回定例会（3月5日）

## 学校給食の無償化を行う予定はあるか

（村）今後も補助という形でいきたい

**Q** 県内の市町村で学校給食費無償化が非常に進んできた。現在、

県内では、無償化をしている町村が、七戸町、南部町、東北町、おいらせ町、新郷村、六ヶ所村、今別町の7町村だが、東奥日報の新聞報道で、五所川原市も2020年10月から実施するというニュースがあった。

東津軽郡内では、今別町が昨年4月から無償化を実施しており、外ヶ浜町は、半額の補助をしている。蓬田村では、令和2年度から3分の1を補助することに決まった。子育て支援対策として給食費の無償化は、これからはもっと進むものと期待をしている。村では、将来、無償化を行う予定はあるのか。

**A** （木村伸一教育課長）給食費は、子育て支援のため、また要望もあつたことから、財政の状況や県内の市町村の状況を参考に、現在20円の補助から約3割の補助額の拡充を提案したところだ。今後

もこれを継続したいと考えており、将来の無償化の予定はない。

### 財政的な問題か

**Q** 私は、蓬田村は財政的には余裕があると思つている。20億円近い基金があり、村民に還元することは大事だ。給食費の無償化には賛否両論あるが、仮に蓬田村で完全無償化をしても、村民からひどい批判を受けるということ

は考えられないと思う。教育長並びに課長は、そういう

うことを恐れているのか、財政的なことを考えているのか。

### 食材等の高騰も考慮

**A** （教育課長）県内の状況をみると、完全無償化や5割など補助をやっている自治体は、2割にも満たないという中で、3割補助をしていくという

ことは、決して県内の市町村の中では劣つていない。今後、食材等の高騰という

ことで、給食費全体の見直しも予想されている中で、さらに財源が必要となることなども予想され、先を見据えて、約3割の補助拡充をしたということを理解してもらいたい。

## 消防団員報酬はなぜ据え置きか

（村）出動手当を増額

**Q** 令和2年度から消防団員の出動手当を200円引き上げることになった。大変よいこと

だ。しかし、なぜ報酬は据え置きになったのか。

**A** （総務課長）今回の見直しで、各種出動手当の金額を現行の1600円から1800円に引き上げた。一昨年度からの一般質問で、村長が見直しを検討すると回答している

ので、それを受けて今回200円増額した。団員等からの意見もあつて、報酬ではなく、出動手当を値上げしている。

外ヶ浜町、平内町と比べると、報酬は確かに低いのは承知しているが、今別町とは同水準であり、県下では、同規模の町村と比べても、ほぼ妥当な金額ではな

### 報酬を引き上げてほしい

**Q** 団員は決まった行事だけでも年5回訓練など4、5回は出る。出動し、そのほか観閲式

やっているわけで、引き上げてほしいと願つている。今別町などの低いほうと比較するのはなく、隣の

外ヶ浜町と比較をして、それ相応にするのが筋ではないか。

### 他町とのバランスも検討

**A** （総務課長）報酬額には、いろいろ意見があるが、財政状況も

考えて、他町とのバランスも見えていきたい。

# 住宅リフォームの助成はできないか

## (村)制度はあるが実績がない

**Q** 外ヶ浜町では住宅リフォームの助成を実施している。1000万円ほどの予算で、その経済的効果は非常に高いという評判だ。村でも実施できないか。

**A** (建設課長) 村では、平成26年度から、安全・安心住宅リフォーム促進事業補助金交付要綱を制定している。既存住宅の耐震性能・省エネルギー性能・バリアフリー性能・克雪性能・防災性能の改修工事に要する工事費に対して助成することとしていたが、令和元年度までの利用実績はなかった。今後の助成は、他市町村の状況を把握しながら検討していきたい。

**Q** 浄化槽の助成は周知されているが、村民にこの住宅リフォームの制度を宣伝はしているのか。どれほどの予算で、何%の補助をするのか。

**A** (建設課長) 過去に広報に載せてお知らせしている。予算は、40万円ほどを計上している。

**要望** 外ヶ浜町では工事費の20%を補助して、50万円以上のリフォームに対して補助金の上限が20万円だそうだが、地元業者の仕事を増やす上でもぜひ実施してもらいたい。

# 離岸堤への進入を規制できないか

## (村)県の管轄なので協議したい

**Q** 先日、物産館を訪れたとき、玉松海水浴場の離岸堤上に大人2人がいるのが見えた。何をしているかわからなかったが、この離岸堤への進入の規制はできないのか。また、県とはどのような取り決めをしているのか。

**A** (建設課長) 離岸堤は県が管理を行っており、県から許可を

もらって、陸から50メートルほどのところに単管で柵を作成し、立ち入り禁止の看板を設置している。県との取り決めはなく、今後、県と安全対策について協議し、危険等の看板を増やしていきたい。

**Q** 危険なので簡単に入れないようにすべきでは

**A** (建設課長) 離岸堤はCCZの事業でつくられたものだが、竣工式か何かのときに、私たち議員もボートに乗って上陸をした。そのとき感じたのが、東側のテトラポットが、波が当たって濡れていると非常に滑りやすいということと、テトラポットの間で落ちると1人ではなかなかはい上がれないということだ。

**Q** 県の管轄なので確認したい

**A** (建設課長) 離岸堤立ち入り規制などは県の管理であり、確認したい。



玉松海水浴場の離岸堤

※用語解説  
CCZ:コースタル・コミュニティ・ゾーンの略。地域の人々と海辺を結び、ふれあいの空間。

# 自治功労者表彰



■久慈 省悟 議員  
(青森県町村議会議長会表彰  
議員在職11年以上)



■坂本 豊 議員  
(全国町村議会議長会70周年  
記念表彰 議員在職30年以上)

## 議会の一コマ



椅子に荷物置きを取り付け、傍聴席の床を張り替えました。

### 皆さんの声を

#### お聞かせください

村民の皆さんに伝わる広報、広聴広報の誌面作りを目指し、ご意見、ご要望をお待ちしております。

#### 青森県蓬田村議会 広報編集委員会

委員長：坂本 豊  
副委員長：柿崎裕二  
委員：吉田 勉  
委員：川崎憲二

電話 0174-27-2111  
(内線900, 901)

## 追跡

平成30年3月定例会の一般質問で出されました。

## あれから・・・



蓬田地区から移転した駐在所

2月末、国道280号線沿いにあった蓬田村駐在所が、蓬田村ふるさと総合センターの駐車場の一角に移転しました。

## 蓬田村駐在所開所

### ◀◀ 皆様にお願 ▶▶

今6月定例会は、6/3より開会予定ですが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、傍聴をご遠慮いただきますようお願いいたします。

### 編集後記

世界的に猛威を振るい感染が拡大した新型コロナウイルス。その影響で、各種行事・イベントが縮小や中止となり、今年開催予定の東京オリンピックにまでも影響を及ぼし延期となりました。世界経済はもちろん日本経済も大打撃を受けました。

先行きは不安ですが、今年の農作業・ホタテ養殖作業はすでに始まっています。今後の景気回復と豊作・豊漁、新型コロナウイルスの早い終息を祈願しつつ、今年一年仕事に励んでほしいと思います。

また、3月議会で可決された当初予算に盛り込まれた新事業は、村民にとってプラスになるものばかりだと思っております。今後も村民の生活安定のために全力を尽くしたいと思います。  
(かわけん)